

全 仙

ZENBUTSU

J A P A N
B U D D H I S T
F E D E R A T I O N

仏暦2563年1月
[2020年]

No.644

特集「過疎地の活性化」



新年のご挨拶 3

江川 辰三 / 公益財団法人全日本仏教会会長
釜田 隆文 / 公益財団法人全日本仏教会理事長

特集 4

「過疎地の活性化」

【寄稿】
鵜飼 秀徳 / 一般社団法人「良いお寺研究会」代表理事・浄土宗正覚寺副住職・ジャーナリスト
【インタビュー】
高野 誠鮮 / 日蓮宗僧侶・羽咋市元職員

本会からの報告 8

- ・第34期会長・副会長が決定
- ・第3回花まつりデザイン大賞発表
- ・大蔵経公開講座開催のお知らせ
- ・ユネスコ国際平和会議出席
- ・インド洋津波犠牲者15周年慰霊祭参列
- ・第26回理事会報告
- ・各種審議会における答申書提出
- ・第36回仏教主義学校連盟弁論大会出席
- ・「救援基金」寄附者一覧 / 「賛助会員」新規入会者一覧
- ・第19次災害支援活動助成金

年賀交換 12

コラム

第4回 お寺の英語教室「仏像編」 24

大來 尚順 / 浄土真宗本願寺派 超勝寺

法話 ぶっぼうそう

「花のように 空のように……」 26

家田 莊子 / 作家・僧侶 (高野山真言宗本山布教師)

宗教法人運営のための法律入門

宗教法人の管理運営 8 27

題字 28

「全仏」 全日本仏教会 江川 辰三 第33期会長 (曹洞宗管長 / 大本山總持寺貫首)

表紙絵「二十四節氣 養春開花」 30



新年迎え、寒い冬の日々のなかで身近な自然の変化に気の動きを感じつつ、春の到来を想います。今回は各々の節氣のイメージを散華のかたちにこめて表現しました。



平みきお

描手 屋号「画房たいら」。
東京都出身、画家、イラストレーター。
Web : <https://mikiotaira.jimdo.com>

*年間テーマ「二十四節氣遊び」

四季の対象月節氣をそれぞれ描き、1年通じて二十四節氣を表わします。年間通じて季の様々な自然、風物など万物のうごきと調和をたのしく感じて頂けると幸いです。

「新年のご挨拶」

公益財団法人全日本仏教会会長 江川辰三



謹んで新春をお祝い申し上げます。
改歳にあたり、世界平和と皆様のご多幸、そして仏教界全体が更なる交流をもって金蘭之契を結ばれますこと、心より祈念申し上げます。
昨年台風や地震等、多くの災害が発生いたしました。犠牲となられた方々に対し、深い哀悼の意を表すとともに、被災された皆様には、衷心よりお見舞いを申し上げます。
さて、本年より全日本仏教会は、二〇一五年九月の国連サミットで採択されたSDGs(エス・ディー・ジーズ)の支援に向けて、会員一丸となって活動をスタートいたします。SDGsへの支援は、一昨年に開催された第二十九回WFB世界仏教徒会議において採択されたもので、全世界の仏教徒が一致団結し、環境問題や人権問題の解消、教育支援等とともに、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、行動するものであります。
大師釈尊は菩薩の修行として「四摂法」をお説きになられました。その中に「同事」の教えがございます。
「同事」とは、菩薩が形を変えて衆生と同じ立場となり、同じ心になることであり、苦しさや悲しさを共感し合える「同苦・同悲」の心の大切さを説くものであります。

人類すべてが授かった命とともに喜び合える心穏やかな世界の実現に向けて、今こそ我われ仏教徒は「同事」の教えを胸に、人と人、国と国、人と自然の間の中で、相手の立場に寄り添った菩薩行に務めることが肝要に違いありません。

平和な未来の実現と更なる仏教興隆のため、皆様には、本会へのご理解と温かいご支援をお願い申し上げますとともに、各位の更なるご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年の賀詞といたします。

公益財団法人全日本仏教会理事長 釜田隆文



令和の時代に移り、初めての新春を迎え謹んでお祝いを申し上げます。理事長に就任いたしました二年目の半ばとなりましたが、皆さま方より種々格別なるご高配を頂戴いたし、心より厚く御礼を申し上げます。
昨年は、九州地方、関東甲信越地方、東北地方と日本列島の各地で台風や百年に一度といわれるような大雨が降り、何十年来今日に至るまで氾濫したことがない河川が大規模な洪水を起こし、未曾有の災害が発生いたしました。犠牲となられた方々に深くご冥福をお祈り申し上げますと共に、ご家族、ご関係の皆さまにお悔やみと、被災されました皆さまに心よりお見舞いを申し上げ、一刻も早い復興を祈念いたしております。
さて、一昨年日本で開催いたしました世界仏教徒会議で「二〇一六年東京宣言」を採択いたしました。その中、再生可能エネルギー資源の採用や災害被災者の心のケア、未来を担う子どもたちの教育支援、過疎化の問題などを含む、国際連合が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の実現につまみして本会の加盟団体と共に研究を重ね、推進してまいります。また、世界に目を転ずると各地での紛争や貧困、民族問題等々が後を絶ちませんが、本会は、加盟団体と共に仏教の宣揚と世界平和の推進のため、弛まぬ努力を続けてまいります。

皆さまには何卒、本年も変わらぬご指導ご鞭撻をお願いいたします。また、本会の活動にご協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

寄稿

寺院蘇生の「最後の砦」は大企業にあり

「凸版印刷」と「良いお寺研究会」の挑戦

一般社団法人「良いお寺研究会」代表理事
浄土宗正覚寺副住職 ジャーナリスト

鵜飼 秀徳

昨年10月、私はある大企業の社員研修にファシリテーター（全体調整役）として参加した。売上高約1兆4600億円、従業員数約5万17000人（2019年3月末現在、連結）を誇る印刷会社大手、凸版印刷の部長研修だ。研修は1泊2日。同社副社長や顧問も見守る中、計30人が参加した。

研修の目的は主に2つ。「仏教の視点から企業倫理を考える」、そして「寺院再生という社会課題と、企業の利益の両立を実現するビジネスモデルを創出する」だ。初日の講義の場所は善光寺大本願（長野市）。そして2日目のフィールドワークの舞台は長野県内の

山間部にある複数の寺院で、人口減少傾向にある小布施町や飯山市などの寺院を視察。住職や自治体職員から「寺院を取り巻く厳しい現実」の報告を受け、「解決に向けた具体的施策、凸版グループに何ができるか」を議論した。

研修生からは、「無住寺院をコワーキングスペースとして活用」「デジタル巡礼による人の流れの創出」「地元のコメで作ったおにぎりを寺で振る舞う朝事の開催」などのユニークな具体策が次々と提案された。

私は講評で「過疎にある寺院再生の可能性があるとすれば、皆さんのような大企業の資本と技術、マンパ

ワーに頼るほかない。寺院を社会資本と位置づけ、力を貸してほしい」と訴えた。



長野県小布施町の寺院を視察する凸版印刷社員

さて私は2015年に『寺院消滅

失われる「地方」と「宗教』（日経BP）を上梓して以来、多くの仏教教団の研修会に出講させていただいてきた。現在、日本の寺院数はおよそ7万7000。しかし、2040年の段階で正住寺院が5万か程度までに減少している可能性がある。なかでも山間部に立地する寺院を多く占める教団は消滅の可能性が高い。曹洞宗では約1万4200か寺のうち、全体の42%にあたる約6000か寺が無住になると

社がサテライトオフィスを置くほか、クリエイターや起業家が多数、移住してきている。神山町は「創造的過疎」と呼ばれ、注目を集めている。

地方の寺を企業に無料で、もしくは安価で提供すれば、企業にとっても固定費や税金などのコストカットになる。自然環境に恵まれた場所であれば、そこで働く人々にとって精神衛生上悪いことではないし、寺院は格好の「発想空間」になれるはずだ。先の吉水師が指摘した、寺宝の盗難などの防犯の問題も解決できる。伽藍さえ維持できれば、地域の宗教施設としての機能は十分果たせるであろう。空き寺が再生し、地域が活性化してくれば、いずれ住職が入ってくれる可能性もある。

凸版印刷は、「寺院再生モデルに寄り続けたい」と語ってくれた。私は、胸が熱くなる思いで研修を終えた。しかし、一抹の不安材料がないわけではない。

仏教界が、どこまで当事者意識を持ち、本気になって取り組めるのか。それがいま、試されているのだと思う。

両立を目指す企業と、仏教界とを結びつける役目を果たす。宗門は個別の寺院に資金を再分配することは難しいし、国や行政には政教分離の壁があって直接的に寺院に税金を投入することはできない。「最後に残された砦」が企業なのである。

そこで、私が経済記者だった時から縁があった凸版印刷にお願いし、わが社団法人とアライアンス（企業連合体）を組ませてもらった。先に述べたような研修会のほか、「寺院での障害者アクト展示と自立支援」（既にプロジェクトがスタート）「健康アプリを使った古寺巡礼」「3D技術を使った東京法要」「花寺巡礼」（企画検討中）など様々な取り組みをスタートさせている。

先述の社員研修で、「無住寺院をコワーキングスペースとして活用」というアイデアが出された。これは、無住寺院対策の最優先課題である「伽藍の維持」に寄与する素晴らしい発想であり、私も同様の腹案を持っている。

伽藍が朽ちてしまえば、寺院再生は限りなく不可能になる。空き寺のまま放置すれば、10年を経ずに青空寺院と化すであろう。そのため、寺院の管理が必要になる。



視察後のグループワークの風景

私は寺の護持は必ずしも、僧籍を持った住職である必要がないと考えている。そこで発想を広げ、企業にサテライトオフィスやコワーキングスペースとして、地方の寺院を活用してもらうのである。たとえばICT関連やクリエイティブ産業は東京にオフィスを構えずとも、業務にさほど支障はでない。無住寺院を洒落たオフィス空間に改装し、ネット環境などを整えるのは、さほど難しいことではない。

先行成功例を挙げれば、徳島県の山間部にある神山町では近年、古民家の空き家を利用し、サテライトオフィスの誘致に成功している。東京などの

の試算（國學院大学石井研士教授調べ）がある。他にも消滅割合の高い宗派は高野山真言宗で46%、真言宗智山派で39%、臨済宗妙心寺派で35%などとなっている。

寺院消滅の要因のいちばんは、大都市圏への人口の集中だ。都市化に伴う核家族化、死生観の変化などが原因となつて、墓じまいや離檀を加速させている。葬送の簡素化も都市部から地方部へと波及している。

研修会に参加してくれた飯山市の浄土宗慶宗寺の吉水徳宏住職は凸版印刷社員の前で、こう訴えた。「葬式のたびに檀家が減っていく。老僧がひとり寺を守り、その後の後継者のいない寺院もある。近隣ですでに無住化した寺院も多く、ある無住寺院では先日、仏像の盗難があった」

私はこれまで、研修会の中で「寺院消滅は社会構造の問題なので抜本的解決は不可能」と切つて捨てていた。しかし、2018年春に東京を離れて自坊に戻ったのをきっかけに「寺院再生の可能性」を模索し始めた。そして、一般社団法人「良いお寺研究会」を立ち上げた。

同社は、「地方創生」や「SDGs」といった社会問題解決と経済的利益の



【プロフィール】

鵜飼 秀徳 (うかい ひでのり/しゅうとく)

1974年、京都市嵯峨にある正覚寺に生まれる。大学卒業後、新聞記者を経て、日経BP社に移籍。「日経ビジネス」記者、「日経おとなのOFF」副編集長などを歴任。2015年に手掛けた『寺院消滅 失われる「地方」と「宗教』』（日経BP）はベストセラーになった。2018年に退社し、自坊に戻る。浄土宗僧侶兼ジャーナリストとして、主に「宗教と社会」をテーマに取材、執筆を続ける。プレジデントオンライン、Wedge、京都新聞、中外日報などでコラムを連載中。著書に『無葬社会 彷徨う遺体 変わる仏教』（2016年、日経BP）、『「靈魂」を探して』（2018年、KADOKAWA）、『ペットと葬式 日本人の供養心をさぐる』（2018年、朝日新書）。最新刊に『仏教抹殺 なぜ明治維新は寺院を破壊したのか』（2018年、文春新書）。浄土宗総合研究所嘱託研究員、佛教大学非常勤講師、東京農業大学非常勤講師。

インタビュー

日蓮宗僧侶羽咋市元職員 高野 誠鮮

僧侶でありながらも、市の臨時職員として地域活性化への取り組みを続けてきた高野誠鮮さん。高野さんが住職を務める妙法寺（日蓮宗）は石川県羽咋市にあり、人口は約2万人。過疎高齢化が進む集落では、地域の活性化が課題となっています。

本項では、その課題に向き合い、日々奔走する高野さんの挑戦をご紹介します。

羽咋市の農業

羽咋市の神子原地区では、農業で生計を立てるのが非常に難しい状況でした。年収のデータでは、1年間の農業所得は約87万円と低額のため、専業農家として生活が叶いません。

まず過疎について、どう取り組むべきかを考えた時、その問題は人が動かないことにあります。地域社会の最小単位は「人間」なのです。つまり私は人間の身体の中に、すべての答えがあると考えています。痛みがあってもリハビリをするのと同じように、一生懸命動かすことが大切です。動くことで、

血液の巡りが良くなります。地域社会に当てはめると血液＝貨幣となり、それがうまく回る仕組みとして、農家自らが生産、管理、加工、販売することを提案しました。村の人全員で会社を興し、市場の米価に左右されずに値段を決めることができれば、過疎地の限界集落でも自活自立できるのです。

お米のブランド化へ

神子原地区の農家に、自ら農産物に値段を付けて自立できる事業の仕組みを説明しました。しかし農家の方からは「田んぼに入ったこともないやつに

米が売れるか」と猛反発。集落の169世帯中3世帯の賛同をいいただき、新米を役所で預かり、売ることにしました。
市からの事業予算は60万円。バスを借り上げ、集落の農家の方々と連れて、農産物の直売所で億単位以上の売り上げを出している愛媛県の内子町から行ききました。実際にどのように自立運営しているのかを見てもらい、運営のノウハウの理解を深めていきました。しかし、私たちのお米をどう売っていくかの戦略が鍵になります。ある雑誌で「美味しいお米ベスト10」に神子原のコシヒカリ米がランクインしているのを知りました。神子原米は山のきれいな水だけで作るので本当に美味しいのです。そこで考えたのが、神子原米のブランド化です。

ローマ教皇へ献上

では無名の神子原米をどうすればいいのか。まずブランドとは何かというと、人が決めているのです。社会的に有名で影響力が強い人ほど、その人のブランド価値も並行して上がります。そこで考えたのが、ローマ教皇への神

子原米の献上でした。神子原の地名は、英語にすると「The highlands where the son of God dwells」。神の子の高原」という意味になります。クリスチャンからすると、神の子＝キリストになり、キリストの高原を意味します。
私はローマ教皇宛に何通も手紙を出しました。正直、返事が来るかは分からなかったです。熱意が届いたのかしばらくして、東京にあるローマ教皇庁大使館から呼び出しがあり、45キロの神子原米を持って訪問しました。その時にいただいた言葉が「神子原は人口が500人以下になった小さな村ですね。バチカンには人口800人ほどしかない世界で一番小さな国です。小さな村から小さな国への架け橋を私たちがやりましょう」とまるでドラマのワンシーンのようなセリフをいただき、正式にローマ教皇への献上品として認められました。

それから、神子原米はローマ教皇への献上品として、全国誌に取り上げられ、大ブレイクし、役所の農林水産課の電話だけで1か月に800俵以上の米が売れました。農協経由でお米を売ると当時1俵1万3000円、役所経由で売れば、4万2000円と3倍の売り上げになりました。すると、当初、反対していた方たちはみんな賛成に



神子の里 Web サイト

ひっそり返りました。2年間、役所で販売してきましたが、その後、農家の方たちに会社を興してもらい、現在では「神子の里」という販売所とオンラインショップで取り扱いをしています。



枯れたリンゴ

この農法でつくられた農作物は腐らず、「枯れる」のです。腐って溶けていくのが異常なのです。なぜこれを進めるのかというと、仏教の戒律における『不殺生戒』によるところです。農薬を使用すれば、昆虫などの生き物を殺してしまいます。私たちは生き物を殺した農作物を食べているのです。木村さんは、自然栽培で作った農作物には虫が寄ってこないと話しています。それは自分の目で11年間観察を続けてきたからです。

今では自然栽培で作られた農作物は羽咋市の学校給食でも使われるように

なりました。自然栽培の野菜はアレルギーを起こしません。途中編入学を希望する問い合わせもあるほどで、アレルギーの子どもの持親御さんにとっては真剣な課題です。
また、県内外から羽咋市での自然栽培による農業に興味を持った人たちが移住してきました。多くの方々に自然栽培の良さを知ってほしいと、村一丸となって取り組んでいます。

地域活性化の心構え

私は成功と言われるまで、何度も失敗し続けただけです。何もしない人間は一切失敗しないのです。地域活性化の取り組みは「修行」という言葉と一緒だと思いました。進みながら修正すると書きまますから、とにかくやりながら直していけばいいと思うのです。私も様々な場面で役所や集落の人たちとぶつかってきました。社会での修行は、果敢に挑戦してみること。良くなるまでやり続けることが大切だと思っています。

腐るのではなく、枯れる

今、新たな挑戦として農薬、有機肥料、除草剤を一切使用しないで農作物を作る自然栽培に取り組んでいます。これは自然栽培によって「奇跡のリンゴ」を生みだした青森県在住の木村秋則氏の農法です。

【プロフィール】

高野 誠鮮 (たかのじょうせん)

日蓮宗妙法寺 住職。総務省 大臣委嘱地域力創造アドバイザー。地方創生アドバイザー。立正大学客員教授/新潟経営大学特別客員教授。元地方公務員(羽咋市文化財室長 平成28年3月に定年退職)。

大学在学中から科学雑誌ライターとなり、テレビ番組の構成を手掛ける。実家の妙法寺を継ぐために能登半島に帰省し僧侶住職となる。昭和59年4月より羽咋市に臨時職員として勤務し、地域活性化のために日々、奔走し続けた。



第3回花まつりデザイン大賞発表！

「第3回花まつりデザイン募集」に多数のご応募をいただき、ありがとうございました。海外や4歳から80歳という幅広い年齢層の方々への参加を含む169点もの作品を応募いただきました。去る10月に審査会を開催し、2020年のポスター・絵はがき各部門の大賞作品を決定しました。

ポスター大賞作品



「よろこび」
とりい さき
鳥居 咲希さん

【コメント】
この度はこのような賞を頂くことができ大変嬉しく思っています。この絵を見て優しい気持ちになっていただけたら嬉しいです。

絵はがき大賞作品



「花雨の下(Under the Rain of Flowers)」
キム ヨンオン
金 始言さん

【コメント】
このような大きな賞をいただきありがとうございます。一人でも多くの方にお祝いを出来ればと描いた絵が、花まつりの一部となってお祝いできることをとても光栄に思います。私の作品が絵はがきとなり、いつも愛する心を持つという仏様のことばのように、今までうまく愛を表現できなかった方々が、私の絵を見て一人でも多くの人に愛を表現できるきっかけになれば嬉しいと思います。



「おめでとう、お釈迦様！」
いさじ れいこ
伊左次 玲子さん

【コメント】
この度は、思いがけない幸運に、びっくりしております。公募のポスターが届き、そのイラストを見ているうちに、ポワッと浮かんできたものを絵にさせていただいたので、何かのお導きかと思つたくらいです。この作品が、いろいろなところで活用され、少しでも何かに役立つことが出来れば嬉しいです。

本会が2020年に頒布する花まつりポスター・絵はがきは、大賞作品をもとに作成いたしました。皆さんと一緒に釈迦さまの誕生日である「花まつり」をお祝いし、盛り上げていきましょう！

(公財)全日本仏教会 第34期会長・副会長が決定

本会は、令和元年11月14日に開催した会長・副会長候補者推戴委員会にて候補者を決定し、第26回理事会において本会第34期会長・副会長を次の通り決定いたしました。伝統仏教界の象徴として、国内外問わず、様々な場で日本仏教を発信してまいります。

任期：令和2年4月1日から2年間

詳細なプロフィールは本会Webサイトより参照ください

第34期会長

大谷 光淳

(おおたに こうじゆん)

浄土真宗本願寺派門主



第34期副会長

瀬川 大秀

(せがわ たいしゅう)

真言宗御室派管長



原井 日鳳

(はらいにっぽう)

法華宗(本門流)管長



西山 明彦

(にしやま みょうげん)

律宗管長



清水谷 善圭

(しみずたに ぜんけい)

島根県仏教会会長



東伏見 具子

(ひがしふしみ ともこ)

公益社団法人
全日本仏教婦人連盟会長



大蔵経公開講座開催のお知らせ

テーマ

「SAT利用者講習会特別編…
デジタル大蔵経の現在と未来」

【概要】

大蔵経研究推進会議において活動を支援している、SAT(大蔵経テキストデータベース研究会)は、国内外においてデジタル時代の学問研究をリードするトップランナーとして、目覚ましい成果を達成しています。

そのデータベースの利用のために、海外ではハンブルク大学、オックスフォード大学、ミシガン大学、ブリティッシュコロンビア大学、カリフォルニア大学バークレー校などにおいて、国内では内閣府知財本部、国会図書館、駒沢大学、大正大学、大谷大学、浄土宗、曹洞宗、浄土真宗本願寺派、真宗大谷派などにおいて、その利用に関わる講習会を開催してきました。

この度、最新のSATの成果を踏まえ、研究会が本部を置く東京大学において、その意義を示す講演会と特別利用者講習会を、下記の要領で開催いたします。関心をおもちの多くの方々にご参加いただければありがたく存じます。

記

日時 令和二年三月十一日(水)

午後二時～午後四時

場所 東京大学本郷キャンパス

法文二号館一番大教室

(正門をくぐり右手二番目の建物)

定員 二百名

参加費 無料

【概要】

講演会 「SAT大蔵経の現在と未来」

下田正弘

(SAT大蔵経テキストデータベース研究会代表・東京大学教授)

特別利用者講習会

永崎研宣

(SAT大蔵経テキストデータベース研究会技術責任者・(財)人文情報学研究所主席研究員)

【主催】

大蔵経研究推進会議常任議員(SAT大蔵経テキストデータベース研究会、公益財団法人全日本仏教会、日本印度学仏教学会、日本仏教学会)

ユネスコ国際平和会議出席

世界平和のための科学、倫理などをテーマにした国際平和会議(International Peace Conference)が令和元年十月七〜九日まで、フランス・パリのユネスコ本部で開催された。主催はWFB世界仏教徒連盟と地域センター、各国ユネスコ代表部などで、世界各国から約二百人が集まった。日本からも全日本仏教会元理事長で世界仏教徒連盟(WFB)副会長の小林正道師、世界仏教徒青年連盟(WFBY)会長の村山博雅師、全日本仏教青年会特別委員会事務局長の大久保厚志師、本会国際部長が参加した。

大会テーマは「平和と調和の世界のための、科学、倫理、スピリチュアリティ、愛の教育」。開会式はユネスコ本部大ホールで行われ、小林副会長がWFBのパン・ワナメッティ会長のメッセージを代読した。

代読では「すべての宗教が利己主義的思考をコントロールすることの大切さを目指している」と信じている。互いの違いを論ずるより、すべての宗教共通の訓示を日々の生活に活かしたほうがより有益であろう。それぞれの宗教がそれぞれの道で人々の苦を和らげ、世界の文明に寄与している」と強調し宗教者が目指すべき方向を述べた。

で共生するためには宗教間や文化間の対話が重要であることが語られた。また、会期中には各国・諸宗教やユネスコ大使らとの交流、在フランスの日本の各宗派開教本部などへの訪問、会談も行われた。



インド洋津波犠牲者十五周年慰霊祭参列

令和元年十一月五日、国連が制定した「世界津波の日」にあわせ、タイ南部のプーケット・カマラビーチのホテル敷地内にある慰霊碑「久遠の風に願う」の前において十五周年を迎えた津波犠牲者慰霊式典が主催団体のNPO法人ブラジャによって催された。

日本からのご遺族や現地在住の邦人ら百人余りが参列した。式典では、主催団体を代表して菅家弘道理事長が挨拶。続いて、プーケット県ソムパート・パポンカム郡長、在タイ日本大使

館佐渡島志郎大使代理坂本徹一等書記官、WFBパロップ・タイアリー事務総長らが来賓追悼の辞を述べた。その後、中川法政日蓮宗事務総長を導師に追悼法要が厳修され、列席者が献花と献香を行い、犠牲者の冥福を祈った。

法要終了後、会場を屋内に移し、夕食会が行われた。その中で、WFBパロップ事務総長から十五年にわたり慰霊祭に尽力されたNPO法人ブラジャ、日蓮宗、慰霊碑敷地を提供したカマラビーチホテル&リゾートホテルに対して感謝状が贈呈された。

平成十六年十二月二十六日、スマトラ島沖を震源としたマグニチュード九・一の大地震と直後の大津波により、犠牲者は二十二万人を超えた。本会では、津波発生翌年一月に国際部職員を派遣し、現地の状況を把握。その後、タイ政府観光庁の要請により五月の連休明けに慰霊法要を当時の藤井日光本会会長の日蓮宗総本山身延山久遠寺僧侶が出仕した。これを機に以後三回忌、七回忌、十周年などの法要に関わってきたが、主催団体や参加されるご遺族の事情などにより慰霊祭は、今回をもって最後となった。



慰霊祭に参列される遺族ら

第二十六回理事会報告

第三十四期会長、副会長の推戴を承認

令和元年十一月十四日に開催した第二十六回理事会において、第三十四期会長、副会長の推戴に関する議案が上程され、全会一致で原案通り承認された。また、議案第二号として特定資産について上程され、周年事業の残余金が特定資産として移行されることが承認された。協議事項として、二〇二〇年度事業計画大綱(案)、二〇二〇年度予算大綱(案)、大蔵経テキストデータベース運営支援第三期事業について上程され、全会一致で賛同された。その他、事務総局より報告事項として、六十周年記念事業についての報告、各部報告をした。

第二十六回理事会概要

日時 令和元年十一月十四日 午後三時三十分
会場 じゅらん交流館会議室
出席理事 十一名(二十名中)
出席監事 二名(二名中)
議長 長 釜田隆文第三十三期理事長



理事会の様子

各審議会における答申書提出

令和元年十二月二日、各審議会における答申書を釜田隆文理事長へ提出した。総務財政審議会からは上沼雅龍委員長、東森尚人副委員長。社会・人権審議会からは佐々木基文委員長、株橋隆真副委員長。国際交流審議会からは古沢理哉委員長、奥山元照副委員長より手交。答申内容は第二十七回理事会にて開示し、今後の事業方針について協議する。

第三十六回仏教主義学校連盟弁論大会出席

令和元年十一月二十一日立正大学付属立正中学校・高等学校内の行学ホールにおいて第三十六回仏教主義学校連盟弁論大会が開催された。

弁論大会は、十七の加盟校の内、十三校が参加し、中学二年生から高校三年生まで、男子七人、女子十六人の弁士がひとり五分間の弁論を尽くした。弁士たちは、仏教各宗派によって設立された各校の建学の精神をもとに、「いのち、生き方、平和」「環境」「人権」などをテーマに論理と主張を組み立て、話し方や表現に工夫をこらし、聴衆に感銘を与えた。

審査の結果、夏休み中に体験した十五日間の僧堂修行から「一所懸命」と題して弁論を行った世田谷学園高等学校二年生内田雄大君が第一位に選ばれた。併せて、全日本仏教会会長賞を受賞し、江川辰三会長直筆の「速成就佛身」妙法蓮華経如来寿量品と揮毫された色紙が贈呈された。第一位と第二位は、それぞれ三人が受賞した。また、弁士全員に本会から腕輪念珠が贈呈された。

この仏教主義学校連盟弁論大会は、一九七八(昭和五十二年)に開催した第十二回世界仏教徒連盟日本大会を機縁に青少年が社会に目を向けた主張を育むことを目的に始まり、東京都仏教連合会が後援、本会が協賛している。



第1位内田雄大君

「救済基金」寄附者一覧

二〇一九(令和元年)九月一日〜二〇一九(令和元年)十一月三十日

(時系列順・敬称略)

- 指定なし
齊藤 清美
北条仏教会
廣徳寺 坂坂光明
小千谷市仏教会
福泉寺 佐々木 義雄
日本テンプルヴァン株式会社
太福寺 佐久間 大道
妙定院 小林 正道
岡野 俊彦
オフィス 架け橋 松田 健
真照寺 堀井 隆川
玉林寺 長谷 琢堂
諸見田 優
一般社団法人日本石材産業協会
全日本葬祭業協同組合連合会
圓満寺 西郊 良光
吉祥院 曾我 龍慶
高木 義明
青森県仏教会
融通念佛宗
寂光院 松平 實胤
有限会社新宿アカウンティングオフィス
水口地区佛教会
甲賀町仏教会
山梨県仏教会
圓満寺 篠原 法傳
南足柄市仏教会
森 由美子
神奈川県仏教会
公益社団法人日本仏教保育協会
玄向寺 荻須 眞教

「賛助会員」新規入会者一覧

二〇一九(令和元年)九月一日〜二〇一九(令和元年)十一月三十日

(時系列順・敬称略)

- 個人会員
護勢寺 菅原 公宇
公益社団法人全日本仏教婦人連盟
高野山真言宗 社会人権局
頭本法華宗宗務院
円光寺 勝部 康雄
海外人道支援等
齊藤 清美
匿名希望 八件
総計 三、五九三、〇五一円
ご支援、誠にありがとうございました。

第十九次災害支援活動助成金

災害活動支援として第十九次助成金申請を募集いたします。詳細については、本会Webサイトを「ご覧ください」。
http://www.jbfrne.jp/

新年お慶び申し上げます



管座 葛西 光義
 執行 長 添田 隆昭
 執行 長 長谷部 真道
 執行 長 橋本 真人
 執行 長 橋本 真人
 執行 長 佐伯 公応
 執行 長 岡部 観栄
 執行 長 山口 文章
 執行 長 加藤 栄俊
 執行 長 加藤 栄俊
 執行 長 佐々木 基文
 執行 長 丹羽 義寛
 執行 長 仁賀 大善
 執行 長 東 伸光
 執行 長 廣瀬 義仙
 執行 長 柏田 良辯

東京別院主監 廣瀬 義仙
 京都別院主監 廣瀬 義仙
 京都別院出張所 廣瀬 義仙
 京都別院出張所 廣瀬 義仙

和歌山県伊都郡高野町高野山一三二
 TEL 0736(五五)2011
 FAX 0736(五六)4640
<http://www.koyasan.or.jp/>

高野山真言宗 総本山金剛峯寺

竿頭の先に
未来をひらく

新年お慶び申し上げます



曹洞宗宗務庁
 管 長 江川 辰三
 宗務総長 鬼生田 俊英
 参 議 羽仁 素道
 参 議 石橋 晋哉
 総務部長 橋本 壽幸
 伝道部長 中村 見自
 人事部長 成田 隆真
 教学部長 渡部 卓史
 教化部長 喜美候部 謙史
 出版部長 結城 俊道
 財政部長 服部 秀世

東京都港区芝二一五二一
 〒105 8544 〇三(三四)五四二
 ▼曹洞宗公式サイト「曹洞禅ネット」
<https://www.sotozen-net.or.jp/>

曹洞宗宗務庁



浄土真宗本願寺派

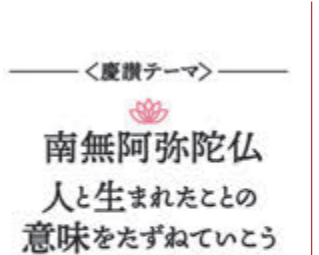
総 長 石上 智康
 総 務 長 竹田 空尊
 総 務 長 光岡 理學
 総 務 長 足利 善彰
 副 総 務 長 公文名 正真
 副 総 務 長 高屋 顕裕
 親鸞聖人御誕生 八百五十年 立教開宗八百年 慶讃法要 総務本部長 滋野 浄真
 同教化本部長 鹿多 証道
 同法要統務本部長 多田 満之
 同法要統務本部長 尾井 貴童
 浄土真宗本願寺派 総合研究所長 丘山 願海

東京都下京区堀川通花屋町下る
 〒600 8501
 浄土真宗本願寺派 伝道本部(宗務所)
 TEL 〇七五(三七)五一八一
 FAX 〇七五(三五)一三七二
<http://www.hongwanji.or.jp/>

管 長 小倉 宗俊
 宗務総長 栗原 正雄
 総務部長(兼) 上沼 雅龍
 花園会館 部長 野口 善敬
 教学部長 野口 善敬
 財務部長 澤田 慈明
 花園会館 部長 古山 敬光
 本部 部長 吹田 良忠
 法務部長 吹田 良忠

京都市右京区花園妙心寺町六四
 〒616 8035
 TEL 〇七五(四六)三二二一
 FAX 〇七五(四六)三二二一
<http://www.miyoshinji.or.jp/>

臨濟宗妙心寺派宗務本所



真宗大谷派

宗務総長 但馬 弘
 儀式指導 木全 和博
 研究 八島 昭雄
 参 務 藤井 宣行
 参 務 土肥 人史
 参 務 草野 龍子
 推進本部 長 土肥 人史
 推進本部 長 土肥 人史
 推進本部 長 土肥 人史
 推進本部 長 土肥 人史
 推進本部 長 土肥 人史

東京都下京区烏丸通七条上る
 〒600 8505
 TEL 〇七五(三七)九一八一
 FAX 〇七五(三七)九一八一
<http://www.higashihongwanji.or.jp/>

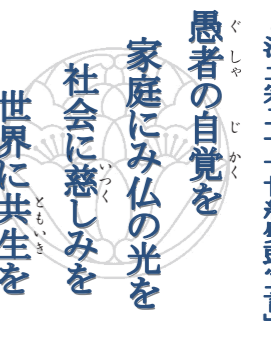
天台座主 森川 宏映
 宗務総長 杜多 道雄
 総務部長 寺本 亮洞
 参 務 浅野 玄航
 参 務 甘井 亮淳
 参 務 森田 源真
 参 務 林 光俊
 参 務 森定 慈仁
 一隅を照らす 運動総本部長 森定 慈仁

大津市坂本四丁目六番二番
 〒520 0113
 TEL 〇七七(五七九)〇〇二二
 FAX 〇七七(五七九)二五一六
<http://www.tendai.or.jp/>

天台宗



天台宗祖師先德鑑仰大法会



浄土宗

浄土宗宗務庁
 管 長 伊藤 唯眞
 宗務総長 川中 光教
 宗務役員 名越 邦博
 宗務役員 光岡 素生
 宗務役員 宮林 雄彦
 宗務役員 杉森 隆志
 職員 一同

東京都東山区区林町四〇〇八
 〒605 0062
 TEL 〇七五(五二五)二二〇〇
 FAX 〇七五(五二五)二二〇〇
 東京都港区芝公園四、七、四
 〒105 0011
 TEL 〇三(三四三六)三三五一
 FAX 〇三(三四三四)〇七四四
<https://jodo.or.jp/>

管 長 布施 浄慧
 宗務総長 芙蓉 良英
 寺務 長 馬場 修任
 総務部長 高麗 行真
 教化部長 笹沼 弘憲
 法務部長 三神 栄法
 財務部長 久保田 剛士
 宗務出張所 近藤 昌俊

京都市東山区東大路七条下ル
 〒605 0951
 TEL 〇七五(五四)一五三六一
 FAX 〇七五(五四)一五三六一
<http://www.chisan.or.jp/>

真言宗智山派宗務庁 総本山智積院



弘法大師 空海 誕生1250年



日蓮宗

管 長 菅野 日彰
 宗務総長 中川 法政
 伝道局長 塩田 義徹
 総務局長 生駒 雅幸
 伝道部長 関 本城
 教務部長 栗原 啓允
 総務部長 高津 憲周
 財務部長 木村 吉孝
 宗務総長 木内 隆志
 日蓮宗現代 宗教研究所長 三原 正資
 参 与 渡邊 義生
 参 与 吉田 顕綱
 日蓮宗新聞社 長 館岡 壽宣

東京都大田区池上、三二、一五
 〒146 8544
 TEL 〇三(三七五)七一八一
 FAX 〇三(三七五)七一八六
<https://www.nichiren.or.jp/>

管 長 田代 弘興
 宗務総長 星野 英紀
 総務部長 小島 一雄
 財務部長 岩脇 彰信
 教務部長 笹岡 弘隆
 教化部長 陶山 義憲
 教化センター長 渡会 瑞顕
 総合研究院院長 加藤 純章

東京都文京区大塚五、四〇、八
 〒112 0012
 TEL 〇三(三九五)〇六三九
 FAX 〇三(三九五)〇六三九
<http://www.buzan.or.jp/>

真言宗豊山派宗務所



新年お慶び申し上げます



融通念佛宗 総本山大念佛寺

管 長 吉村 暲英

宗務総長 寺務総長 田中 瑞修

教学部長 法務部長 吉井 良久

庶務部長 佐々木 智祥

財務部長 會計部長 篠塚 章臣

〒547 0045 大阪府平野区平野上町一・七二六
TEL 06(六六九一)000二六
FAX 06(六六九三)三〇五〇
<http://www.dainenbutsuji.com>

法華宗(本門流)



一天四海皆輝妙法 お題目総下種運動
咲かそう、いのち
—宗祖日蓮大聖人聖誕800年—

管 長 原井 日鳳

宗務総長 二瓶 海照

総務部長 三吉 廣明

教学部長 清水 常光

布教部長 吉崎 長生

財務部長 久野 晃秀

企画部長 平田 義生

〒103 0013 東京都中央区日本橋人形町二・一九一
TEL 03(五六一四)三〇五五
FAX 03(五六一四)三〇五六
<http://www.hokkeshuon.jp>

法華宗(陣門流)

管 長 門谷 日悠

宗務総長 西山 英仁

総務部長 牧野 秀成

教学部長 布施 義高

財務部長 金原 孝宜

教化部長 松吉 慶憲

企画部長 今井 満良

〒170 0002 東京都豊島区栗鴨五・三五六
TEL 03(三九一八)七二九〇
FAX 03(三五七六)〇〇一一
<http://www.shitennoji.or.jp>

顕本法華宗



管 長 大川 日仰

宗務総長 河野 時巧

宗務次長 吉永 義康

教務部長 小松 正学

財務部長 吉田 諦規

庶務部長 小島 芳明

社会部長 齊藤 成貴

布教部長 朝倉 俊泰

〒606 0015 京都市左京区岩倉幡枝町九十一
TEL 075(七九一)七二七一
FAX 075(七九一)七二六七
顕本法華宗宗務院
総本山妙満寺内

一般財団法人 埼玉県佛教会

会 長 倉持 秀裕

副会長 加藤 玄静

同 桑原 恒久

専務理事 深谷 雅良

常務理事 山口 正純

同 河野 亮玄

同 馬場 知行

同 井倉 賢照

事務局長 金子 嘉広

〒330 0063 さいたま市浦和区高砂四・一三・一八
TEL 048(八六二)二一三八
FAX 048(八六四)六六四九
<http://saijutu.net/>

新年お慶び申し上げます



天台真盛宗 総本山西教寺

管 首 長 武田 圓寵

宗務総長 前阪 良憲

社会部長 蜂谷 眞勝

庶務部長 色井 秀宰

教学部長 縄手 教真

財務部長 大上 良雅

〒520 0113 滋賀県大津市坂本五・一三・一
TEL 077(五七八)〇〇一三
FAX 077(五七八)三四一八

天台寺門宗

管 長 村上 法照

宗務総長 金子 嘉純

教学部長 福家 俊彦

財務部長 明石 清澄

修験道部長 秋田 幸輝

庶務部長 加藤 明信

録 事 三島 宗覚

〒520 0036 滋賀県大津市園城寺町二四六
TEL 077(五二二)五一一〇
FAX 077(五二二)五一二八

大日本佛法最初 四天王寺



聖徳太子
千四百年御聖忌
2022年 令和4年 厳修

管 長 森田 俊朗

副管長 加藤 公俊

執事 兼務 瀧藤 尊淳
四天王寺学園理事長
四天王寺福祉事業団理事長

財務部長 兼務 南谷 恵敬

総務部長 吉田 明良

学校教育部長 宮崎 光映
四天王寺学園 常務理事

学校教育部長 森田 惇朗
四天王寺学園 常務理事

社会福祉部 塚原 昭應
四天王寺福祉事業団 常務理事

社会福祉部 坂本 峰徳
四天王寺福祉事業団 常務理事

〒543 0051 大阪府大阪市天王寺区四天王寺一丁目十一番十八号
TEL 06(六七七)〇〇六六
FAX 06(六七七)四九二一
<http://www.shitennoji.or.jp>

総本山仁和寺 真言宗御室派

管 門 長 跡 瀬川 大秀

執行 宗務 総長 吉田 正裕

執行 総務 部長 鴨井 智峯

執行 教学 部長 長岡 誠宏

執行 財務 部長 大石 隆淳

〒616 8092 京都市右京区御室大内三三
TEL 075(四六一)一一五五
FAX 075(四六四)四〇七〇
<http://nimajji.jp>

真言宗醍醐派宗務本庁 総本山醍醐寺寺務所

座 管 主 長 仲田 順和

宗務 執行 総長 壁瀬 宥雅

総務 執行 部長 仲田 順英

教学 執行 部長 田中 祐考

財務 執行 部長 浦郷 宜右

〒610 1325 京都市伏見区醍醐東大路町二二
TEL 075(五七一)〇〇〇二
FAX 075(五七一)〇〇〇一
<http://www.daijogu.or.jp>

新年お慶び申し上げます



会 長 中尾 了信

〒060 0003 札幌市中央区北三条西十九丁目二一
浄土真宗本願寺派北海道教区事務所内
TEL 〇一一(六一) 九六二二
TEL 〇一一(六一) 九六二二

北海道仏教会連盟

真言律宗 管長 大矢 實圓
総本山西大寺
TEL 631 0825 奈良市西大寺芝町一丁目一の五
TEL 〇七四二(四五) 四七〇〇
FAX 〇七四二(四五) 四七二〇

真言律宗 管長 松村 隆誉
総本山西大寺
TEL 〇七四二(四五) 四七〇〇
FAX 〇七四二(四五) 四七二〇

真言律宗 総本山西大寺

新年お慶び申し上げます



管 主 堀本 賢順
宗務 櫻井 随峰
TEL 617 0811 京都府長岡京市粟生西条の内
TEL 〇七五(九五五) 〇〇〇二
FAX 〇七五(九五三) 二二六四
東京別院
TEL 194 0215 東京都町田市小山ヶ丘一・二一
TEL 〇四二(七九四) 八五八五
http://www.komyo-ji.or.jp/

横浜分院
TEL 223 0053 神奈川県横浜市港北区綱島西二三四
TEL 〇四五(五四四) 四八九四
Email:k-betuin@ax.catv.ne.jp

西山浄土宗 総本山光明寺

宗務 藤谷 知良
TEL 514 0114 三重県津市一身田町二八一九番地
TEL 〇五九(二三二) 四一七一
FAX 〇五九(二三二) 一四一四

宗務 真置 和徳

真宗高田派 本山専修寺

管 長 中村 文峰
宗務 蓮沼 良直
TEL 606 8435 京都市左京区南禅寺福地町八六
TEL 〇七五(七七二) 〇三六五
FAX 〇七五(七七二) 六九八九

臨済宗南禅寺派 大本山南禅寺

管 長 有馬 頼底
宗務 佐分 宗順
TEL 602 0898 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL 〇七五(二三二) 〇三〇一
FAX 〇七五(二二二) 三五九一
http://www.shokoku-ji.jp

臨済宗相国寺派 大本山相国寺

管 長 横田 南嶺
宗務 永田 正和
TEL 247 0062 鎌倉市山ノ内四〇九
TEL 〇四六七(二二) 〇四七八
FAX 〇四六七(二三) 三〇二七
http://www.engakuji.or.jp

時宗 総本山清浄光寺

管 長 鈴木 堯將
副会長 徳永 光由
副会長 永徳 眞隆
副会長 奥田 俊裕
事務局長 長谷川 玄應
TEL 316 0032 茨城県日立市西成沢町二二一
TEL 〇二九四(三七) 二六一七
FAX 〇二九四(三四) 六二六三

臨済宗円覚寺派 大本山円覚寺

管 長 上田 祥悦
監事 村田 学風
監事 金山 晃道
事務局長 上田 宗廉
事務局長 秋田 堯慶
事務局長 中谷 正幸
事務局長 若狭谷 良行
TEL 031 0813 青森県八戸市新井町寺ノ上十三一
TEL 〇一七八(二五) 五二四五
FAX 〇一七八(二五) 二四〇六

黄檗宗 大本山萬福寺

管 長 近藤 博道
宗務 荒木 将旭
TEL 611 0011 京都府宇治市五ヶ庄三番割三四
TEL 〇七七四(三二) 三九〇〇
FAX 〇七七四(三二) 六〇八八

二〇二二年
宗祖隠元禅師三五〇年大遠譚
350
開元釋教350年大遠譚

法華宗(真門流)

管 長 高須 日良
宗務 小西 日演
TEL 602 8336 京都市上京区一乗通七本松西入る
TEL 〇七五(四六三) 四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三) 四六五一
本門佛立宗 宗務本庁
TEL 602 8377 京都市上京区御前通一乗上る
TEL 〇七五(四六一) 一一六六(代)
FAX 〇七五(四六四) 五五九九
京都佛立ミュージアム
TEL 〇七五(二八八) 三三四四
URL http://www.hismuseum.jp

管 長 上田 日献
宗務 堀 智泰
総務 堀内 浩善
教学 峰尾 泉栄
教化 木田 慧明
社会 坂本 法保
財務 寺田 良正
TEL 602 8447 京都市上京区智恵光院通五辻上る
TEL 〇七五(四四一) 五七六二
FAX 〇七五(四四一) 五六六六
http://www.hokkeshu.jp

華嚴宗 大本山東大寺

管 長 武田 圓籠
TEL 520 0013 滋賀県大津市坂本五十三一
TEL 〇七七(五七八) 〇〇一三
FAX 〇七七(五七八) 三四一八

福島県仏教会

会 長 保森 英士
専務 小田 修史
事務局長 三瓶 信晃
TEL 963 8877 福島県郡山市堂前町四・二四
TEL 〇二四(九二二) 〇六〇七
FAX 〇二四(九二二) 〇九九三

青森県仏教会

会 長 鈴木 堯將
副会長 徳永 光由
副会長 永徳 眞隆
副会長 奥田 俊裕
事務局長 長谷川 玄應
TEL 316 0032 茨城県日立市西成沢町二二一
TEL 〇二九四(三七) 二六一七
FAX 〇二九四(三四) 六二六三

茨城県仏教会

管 長 有馬 頼底
宗務 佐分 宗順
TEL 602 0898 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL 〇七五(二三二) 〇三〇一
FAX 〇七五(二二二) 三五九一
http://www.shokoku-ji.jp

山梨県仏教会

管 長 堀 智泰
総務 堀内 浩善
教学 峰尾 泉栄
教化 木田 慧明
社会 坂本 法保
財務 寺田 良正
TEL 602 8447 京都市上京区智恵光院通五辻上る
TEL 〇七五(四四一) 五七六二
FAX 〇七五(四四一) 五六六六
http://www.hokkeshu.jp

岐阜県仏教会

会 長 山田 一眞
理事 新美 昌道
TEL 123 0851 東京都足立区梅田一・二十六・十
TEL 〇三(三八八六) 一三六七
FAX 〇三(三八八六) 八二五二

静岡県仏教会

管 長 横山 善道
理事 岩水 龍峰
事務局長 横山 善道
TEL 500 8882 岐阜市西野町三一
TEL 〇五八(二六六) 七八〇三
FAX 〇五八(二一四) 四〇八一
http://dukkkyogifunet/

滋賀県仏教会

会 長 安永 祖堂
TEL 435 0046 静岡県浜松市東区丸塚町五〇六二
TEL 〇五三(四六一) 五三八八

新年お慶び申し上げます



日韓仏教交流協議会

会長 藤田 隆乗
副会長 柴田 哲彦
理事長 西郊 良光
事務総長 渡邊 真行

〒210 8521 神奈川県川崎市川崎区
大師町四、四八
川崎大師平間寺教化部内

TEL 〇四四(二六六)三四二〇
FAX 〇四四(二七七)八一六三

**一般社団法人
仏教情報センター**

理事長 長谷川 岱潤
副理事長 白川 淳敬
副理事長 平井 良昌

〒113 0033 東京都文京区本郷一、四、六、二〇二
TEL 〇三(三八一三)六五七七
FAX 〇三(三八一三)六七九四

妙見宗
真言宗山階派
真言宗泉涌寺派
真言宗国分寺派
真言宗犬鳴派
浄土宗西山禅林寺派
浄土宗西山深草派
真宗佛光寺派
真宗興正派
真宗木辺派
臨済宗建長寺派
臨済宗天龍寺派
臨済宗東福寺派
本門法華宗
法相宗
聖徳宗
律宗
岩手県仏教会
栃木県仏教会

群馬県仏教連合会
千葉県仏教会
新潟県仏教会
石川県仏教会
福井県仏教会
長野県仏教会
和歌山県仏教会
鳥取県仏教連合会
(一社)徳島県仏教会
香川県仏教会
高知県仏教会
福岡県仏教連合会
長崎県仏教連合会
熊本県仏教会
宮崎県仏教連合会
沖縄県仏教会
(公財)国際仏教興隆協会
東京ブレイスクラブ
(公社)在家仏教協会

新年お慶び申し上げます



大阪府佛教会

会長 加藤 定厚
副会長 村山 廣甫
同 森 快隆
同 藪木 恵照
同 瀧藤 尊淳
同 丹農 秀知
同 立石 泰教
同 二上 寛弘

事務局 二上 寛弘
事務局長 立石 泰教

〒552 0021 大阪府港区築港一、十三、三釋迦院内
TEL 〇六(六五七)一五七〇

**一般財団法人
京都仏教会**

理事長 有馬 頼底
常務理事 宮城 泰年
同 坂口 博翁
同 佐分 宗順
事務局長 長澤 香静

〒602 0898 京都府京都市上京区今出川通
鳥丸東入相国寺門前町六三六一
TEL 〇七五(二二三)六九七五
FAX 〇七五(二二三)六九七六

島根県仏教会

会長 清水谷 善主
副会長 伊東 充伸
同 吉田 明弘
同 柳楽 一学
同 茶円 宥勝
事務局長 池上 幸秀

〒692 0404 島根県安芸市広瀬町広瀬一四三二
洞光寺内

TEL 〇八五四(三二)二二二八
FAX 〇八五四(三二)二二二六

兵庫県佛教会

会長 篠原 法傳

〒662 0974 兵庫県西宮市社家町一、三六
圓満寺内

TEL 〇七九八(三五)二三八八
FAX 〇七九八(三五)八八〇二

愛媛県仏教会

会長 仁田 喜潤
副会長 越智 瑞啓
副会長 白石 一玄
監事 水崎 圭二
監事 宮本 寛司
書記 林 尚文
顧問 越智 尚道
顧問 吉川 一晴
顧問 齋藤 俊宏
顧問 福村 俊弘

〒790 0814 愛媛県松山市味酒町二十七番地内
TEL 〇八九(九四)四四七五
FAX 〇八九(九三)一六五五

岡山県佛教会

会長 本山 瑞峰

〒711 0933 岡山県倉敷市児島通生二二七
般若院内

TEL 〇八六(四七〇)五九九九
FAX 〇八六(四七三)五九九九

**公益社団法人
日本仏教保育協会**

理事長 高山 久照

〒105 0011 東京都港区芝公園四、七、四
明照会館二階

TEL 〇三(三四三)七四七五
FAX 〇三(三四三)一五一九

**公益社団法人
全日本仏教
婦人連盟**

会長 東伏見 具子
副会長 加用 稔子
同 吉田 真理
理事長 本多 端子

〒151 0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷
四、五、十一、二〇五

TEL 〇三(五七七)〇六七七
FAX 〇三(六四三)〇一八四
http://jwvf.jp
E-mail:info@jwvf.jp

日本仏教鑽仰会

理事長 中山 秀成

〒174 0041 東京都板橋区舟渡四、十五、一
TEL 〇三(三九六)三二二八
https://bukyo-seminar.jp
info@bukyo-seminar.jp

全日本仏教青年会
WFJBY 世界仏教徒青年連盟 日本センター

理事長 谷 晃仁
事務局長 鷲岡 嶺照

事務局 熊本県阿蘇市黒川一、二五、一
西巖殿寺別館

TEL 〇九六(三三)〇九二八
FAX 〇三(六六八)三三八六
E-mail:info@jybane.jp
URL: http://www.jybane.jp



2020

福

新年お慶び申し上げます



- 【個人会員】
- 稲盛 和夫（京セラ株式会社名誉会長）
 龍泉寺 佐々木誠宗（秋田県）
 社本 公一（公認会計士）
 龍泉寺 菅原 公宇（宮城県）
 護勢寺 伊達 廣三（宮城県）
 福聚院 池田 行信（栃木県）
 慈願寺 大森 篤史（埼玉県）
 東榮寺 矢島 浄純（埼玉県）
 法瑠寺 安野 正樹（埼玉県）
 建福寺 石上 智康（千葉県）
 光明寺 垣内 善勝（東京都）
 萬福寺 小林 正道（東京都）
 妙定院 櫻井 英幸（東京都）
 慈眼寺 佐藤 雅彦（東京都）
 浄心寺 長谷 琢堂（東京都）
 玉林禪寺 深澤 信善（東京都）
 慶安寺 堀井 隆川（東京都）
 真照寺 板坂 光明（神奈川県）
 廣徳寺 久喜 和裕（神奈川県）
 清水寺 板坂 直道（神奈川県）
 大蔵寺 佐藤 有快（神奈川県）
 金蔵院 眞田 良光（神奈川県）
 龍泉寺 壽山 良光（神奈川県）
 圓満寺 西郊 良光（神奈川県）
 正泉寺 野澤 隆幸（神奈川県）
 重蓮寺 関崎 幸孝（新潟県）
 玄向寺 荻須 貞教（長野県）
 本光寺 木村 光正（静岡県）
 寂光院 松平 實胤（愛知県）

- 太福寺 佐久間大道（兵庫県）
 善隆寺 杉浦 栄俊（兵庫県）
 吉祥院 曾我 龍慶（兵庫県）
 精明寺 疋田 哲寿（鳥取県）
 龍仙寺 武田 昭英（広島県）
 誓光寺 村上 智真（山口県）
 西光寺 高橋 篤法（大分県）
 渡邊 永（宮城県）
 鈴木 朝雄（千葉県）
 小川 昌美（東京都）
 北野 謙治（東京都）
 小林 昇（東京都）
 平 みきお（東京都）
 鳥居 邦夫（東京都）
 松村 朱実（東京都）
 天久保 貴（神奈川県）
 君和田茂男（神奈川県）
 佐藤 泰之（神奈川県）
 中村美津江（神奈川県）
 東田 樹治（神奈川県）
 田中 悠樹（長野県）
 安田 容造（京都府）
 山崎 忠征（和歌山県）
 山口 展弘（福岡県）
 井上美和子（佐賀県）
 塩月 光夫（宮崎県）
 赤松 広隆（衆議院議員）
 荒井 聰（衆議院議員）
 岩屋 毅（衆議院議員）

- 枝野 幸男（衆議院議員）
 大串 博志（衆議院議員）
 大塚 高司（衆議院議員）
 金子 恭之（衆議院議員）
 上川 陽子（衆議院議員）
 河村 建夫（衆議院議員）
 小島 敏文（衆議院議員）
 佐藤 公治（衆議院議員）
 佐藤ゆかり（衆議院議員）
 関 芳弘（衆議院議員）
 高市 早苗（衆議院議員）
 野田 毅（衆議院議員）
 原口 一博（衆議院議員）
 平沢 勝栄（衆議院議員）
 前原 誠司（衆議院議員）
 牧島かれん（衆議院議員）
 松本 剛明（衆議院議員）
 松本 文明（衆議院議員）
 三原 朝彦（衆議院議員）
 大塚 耕平（衆議院議員）
 大野 元裕（衆議院議員）
 片山さつき（衆議院議員）
 斎藤 嘉隆（衆議院議員）
 武見 敬三（衆議院議員）
 中川 雅治（衆議院議員）
 二之湯 智（衆議院議員）
 白 眞勲（衆議院議員）
 福山 哲郎（衆議院議員）
 早坂 義弘（東京都議会議員）

- 浅尾慶一郎（元衆議院議員）
 高木 義明（元衆議院議員）
 保利 耕輔（元衆議院議員）
 松本 謙公（元衆議院議員）
 岩城 光英（元衆議院議員）
 佐藤 泰介（元衆議院議員）
 鈴木 寛（元衆議院議員）
 鈴木 政二（元衆議院議員）
 谷川 秀善（元衆議院議員）
 藤谷 光信（元衆議院議員）

新年お慶び申し上げます



賛助会員

- 【特別会員】
 大本山東福寺 遠藤 楚石
 蓮華院誕生寺 川原 英照
 尾道仏教会 麻生 章雄
 實相山中央寺 南澤 道人
 信州善光寺 若麻績信昭
 妙見閣寺 竹内 日祥
 一般社団法人仙台仏教会 伊達 廣三
 壺阪山南法華寺 常盤 勝範
 築地本願寺 安永 雄玄
- 【団体会員】
 京セラ株式会社（電子機器製造）
 東映株式会社（映画）
 株式会社カナム（建築）
 大建工業株式会社（建築）
 松井建設株式会社（建設）
 住友林業株式会社（住宅・建築事業本部（建築））
 東京海上日動火災保険株式会社広域法人部法人第一課（保険）
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社（保険）
 大和証券株式会社 営業サポート部（ビジネスサポート）
 野村證券株式会社 金融公共公益法人部（金融）
 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（金融）
 朝日ビジネスソリューション株式会社（コンサルティング）
 株式会社大陸旅遊（旅行）
 株式会社阪急阪神ビジネスストラベル（旅行）
 株式会社ビーエス観光（旅行）
 株式会社JTBコーポレートセルス 第一事業部（旅行）
 KNTCTホールディングス株式会社グループ事業推進本部（旅行）
 東武観光株式会社（旅行）
 株式会社わらび座（旅館・劇団）
 株式会社阪神総商（寺院サポートコンサルティング）
 株式会社アンカレッジ（寺院運営サポート・企画）
 いちよしビジネスサービス株式会社（総合販売）
 有限会社新宿アカウエイティングオフィス（経営コンサルティング）
 株式会社縁（寺社仏閣総合リスクコンサルティング）
 株式会社東海大阪レンタル（イベント・レンタル）
 株式会社エコ・マイニング（環境・エネルギー）
 FTエナジー株式会社（電力・エネルギー）
 テイクイヘンデルアート（印刷）
 株式会社オメガ・コミュニケーションズ（翻訳、出版物企画・制作）
 株式会社ディー・エイ・ティ・コーポレーション（出版物企画・制作）

- キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社（印刷・システム開発）
 新日本法規出版株式会社（法規図書出版）
 株式会社廣済堂（印刷・WEB・広告・人材サービス）
 株式会社便利堂（美術印刷・企画）
 株式会社漫画家学会（マンガ企画・制作・育成）
 株式会社ルンビニ（保険代理店）
 株式会社三越伊勢丹百貨店事業本部（百貨店業）
 ワイズティネットワーク株式会社（紅茶卸・小売・店舗経営）
 株式会社サウンドファン（音響バリアフリー開発・製造販売）
 株式会社大塚商会（システム機器・ソフトウェア販売）
 株式会社ミライコ（ユニバーサルデザイン企画・設計・情報提供）
 株式会社京扇堂（扇子製造・販売）
 株式会社京扇堂（扇子製造・販売）
 株式会社若林工芸舎（文化財保存修理）
 株式会社公益社（葬祭）
 株式会社ダイセイ（総合商社）
 株式会社いせや（石材業）
 株式会社AVENUE（お寺の窓口運営・WEB制作）
 グレイトインフォメーション株式会社（システム企画・開発・運営）
 全日本宗教学協会
 全日本葬祭業協同組合連合会
 岩手県葬祭業協同組合
 埼玉葬祭業協同組合
 東京都葬祭業協同組合
 神奈川県葬祭業協同組合
 岐阜県葬祭業協同組合
 名古屋葬祭業協同組合
 愛知県葬祭業協同組合
 京都中央葬祭業協同組合
 大阪葬祭業協同組合
 福岡県葬祭業協同組合
 長崎県葬祭業協同組合
 一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
 一般社団法人日本石材産業協会
 一般社団法人遺品整理士認定協会
 一般社団法人LOS相談センター
 一般社団法人仏教検定協会
 一般社団法人PRAY for (ONE)
 一般社団法人日本地域振興新聞社
 一般社団法人良いお寺研究会
 一般財団法人ライフプランニングセンター
 一般財団法人100万人のクラシックライブ
 淑徳大学アジア国際社会福祉研究所
 日本仏教看護・ビハラー学会
 准秩父観音霊場三十四札所

第4回

お寺の英語教室

仏像編



お寺で役立つ英語に特化したお寺の英語教室の第4回は、仏像編です。

今回は、外国人観光客に仏像について説明するときに役立つ英語の簡単な解説を紹介します。主な御本尊の紹介文の一例です。参考にいただければ幸いです。

※仏像の日本語解説は、「仏像ワールド」(<https://www.butuzou-world.com/>)を参考にしています。

釈迦如来

仏教の開祖です。釈迦牟尼は古代インドの小国、釈迦族の王子でした。本名はゴータマ=シッタタです。妻や子供もいた実在の人物です。釈迦如来とはその釈迦が悟りを得た姿をあらわしています。

<特徴>

特徴は螺髪と呼ばれる小さくカールした髪の毛です。装飾品は一切身に付けていません。釈迦が説法を説いている姿が一般的です。ほかには、誕生像、苦行像、降魔像、涅槃像があります。

Tathāgata Shakyamuni(Shakyamuni Buddha)

The founder of Buddhism, Shakyamuni was a prince of Shakya clan which ruled a small kingdom within ancient India. His given name was Siddhārtha Gautama and he had a wife and child. The statue of Tathāgata Shakyamuni represents Shakyamuni after he became awakened or Enlightened.

<Features>

A distinguishing feature is the spiral hair called *rahotsu* in Japanese. The figure is portrayed without any ornaments. The statue generally represents Shakyamuni as he is delivering a Dharma (teaching) sermon. Additionally, there are also statues representing His birth, practicing ascetics, struggling against the devil, and attaining Nirvana (Enlightenment).



© 田中ひろみ

毘盧舎那如来

「毘盧遮那」は、サンスクリット語のVairocanaの音写で、「輝きわたるもの」を意味します。太陽を司る仏です。釈迦は真理を悟り、それを仏法として人々に伝えました。その真理そのものが毘盧舎那如来です。

<特徴>

蓮華台座や光背には多くの釈迦仏が描かれており、教を説いているとされています。一般的には、毘盧舎那如来は右手で施無畏印、左手で与願印を結んでいます。

Tathāgata Vairocana(Vairocana Buddha)

The Sanskrit term "Vairocana" means "the Luminous One". Tathāgata Vairocana is the Buddha that rules the sun. Although Shakyamuni awakened to the truth and preached it as the Buddha Dharma (the teaching or truth), the truth itself is Tathāgata Vairocana.

<Features>

There are many portrayals of Shakyamuni Buddha depicted on the lotus pedestal and halo. This represents that the Shakyamuni Buddha is preaching to the world. Generally, Tathāgata Vairocana's right hand is shown with a symbolic positioning of the fingers called *Semu-in* (mudra for bestowing fearlessness), and the left hand is depicted with the fingers in a *Yogan-in* (wish-granting mudra).



© 田中ひろみ

大日如来

太陽を司る毘盧舎那如来がさらに進化した仏です。「大日如来」は、サンスクリット語ではMahāvairocanaといい、「大なる日輪」という意味です。すべての命あるものは大日如来から生まれたとされ、釈迦如来も含めてほかの仏は大日如来の化身と考えられています。

<特徴>

大日如来は装飾品や宝冠を付けています。また、螺髪ではなく、髪を結い上げています。金剛界と胎藏界の姿ではそれぞれ異なる印を結んでいます。金剛界では智拳印を結び、胎藏界では定印を結んでいます。

Tathāgata Mahāvairocana(Mahāvairocana Buddha)

Tathāgata Mahāvairocana is an evolved form of the Tathāgata Vairocana that rules the sun. The Sanskrit term "Mahāvairocana" means "Great Sun". It is believed that every living things were born from the Tathāgata Mahāvairocana and other Buddhas including the Tathāgata Shakyamuni were his incarnation.

<Features>

Tathāgata Mahāvairocana wears ornaments and a jeweled crown. This statue does not have the spiral hair called *rahotsu*, but the hair is flowing in an upward fashion. Tathāgata Mahāvairocana's hands are shown in the *Chiken-in* (knowledge-fist mudra) in the Diamond World (Skt. vajradhātu, Jpn. kongōkai) and makes *Jo-in* (meditation mudra) in the Womb or Matrix World (Skt. garbhadhātu, Jpn. taizōkai).



© 田中ひろみ

阿弥陀如来

無量の寿と光を持つことから無量寿如来、無量光如来ともいいます。西方極楽浄土の教主です。「南無阿弥陀仏」を唱えるあらゆる人々は必ず浄土に生まれることができるとされ、広く民衆から信仰されています。

<特徴>

釈迦如来と同じく装飾品は一切ありません。特徴は、来迎印もしくは摂取不捨印と呼ばれる印です。

Amida Buddha

Tathāgata Amitāyus(Buddha of Immeasurable Life) Tathāgata Amitābha(Buddha of Immeasurable Light)

It is said that Amida Buddha has immeasurable life and light, therefore, Amida is called Tathāgata Amitāyus (Buddha of Immeasurable Life) as well as the Tathāgata Amitābha (Buddha of Immeasurable Light) and is recognized as the Buddha of the Western Pure Land of Bliss. All people who recite the name of Amida Buddha ("Namu Amida Butsu") can be born into the Pure Land. Amida Buddha is widely worshipped by people.

<Features>

Just like the statues of Tathāgata Shakyamuni, Amida Buddha is shown without any ornaments. A distinguishing feature is the symbolic finger gestures called *Raigo-in* (mudra of coming to welcome the deceased) or *Sesshu Fusha-in* (mudra of grasping and never abandoning).



© 田中ひろみ

薬師如来

東方浄瑠璃世界の教主で、正式名を薬師瑠璃光如来といえます。病気を治して衣食住を満たすという「十二の大願」を立て、生きている間に願いを叶えてくれます。現世において、やすらぎを与えてくれる仏です。

<特徴>

薬壺を左手に持ち、右手の薬指を前に出しています。ほかの装飾品などは持ちません。ただし、奈良時代までの造形は薬壺を持たない場合が多く、釈迦如来と区別がつきにくいとされています。

Tathāgata Bhaisajyaguru(Medicine Buddha)

The founder of the Eastern Pure Land of Lapis Lazuli. Tathāgata Bhaisajyaguru established the Twelve Great Vows for all sentient beings to heal their diseases and satisfy their food, clothing and housing needs and fulfills people's wishes during living lifetime. This Buddha provides us benefits and peace in this world.

<Features>

This statue holds a gallipot with the left hand and positions the third finger of right hand forward. The statue is not depicted with any other ornaments. However, most Tathāgata Bhaisajyaguru statues that were created before the Nara Period (710-794) do not have a gallipot. Therefore, it may be a bit difficult to distinguish the Tathāgata Bhaisajyaguru from the Tathāgata Shakyamuni.



© 田中ひろみ

不動明王

インド神話のシヴァ神の別名です。語源は「動かない守護者」を意味します。シヴァは暴風雨の威力を神格化したもので、破壊的な災害を起こす半面、雨によって植物を育てます。その破壊と恵みの両面性を持って、仏法の障害となるものに対しては怒りを持って屈服させ、仏道に入った修行者には常に守護をして見守ります。

<特徴>

背が低く、少し太めの童子型の造形が多く、怒りの表情をしています。目は天地眼といって右目を天に左目を地に向け、口は牙上下出といって右の牙を上、左の牙を下に出しています。炎の光背を背にし、手には剣と羂索を持っています。剣は大日如来の智慧の鋭さを表現し、羂索は煩惱を縛り悪の心を改心させる捕縛用の縄を意味します。

Acalanātha(Immovable Wisdom King)

Acalanātha is said to be an assumed name of Shiva in Hindu mythology and means "Immovable Guardian". Shiva is a deification of the power of storms; destructive disasters and grace to grow plants. With both destructive and graceful natures, Acalanātha makes obstacles surrender through anger and always protects and watches over all Buddhist practitioners.

<Features>

Many statues of Acalanātha are often depicted as a short and pudgy child with somewhat angry facial expressions. The right eye directs the heavens, and the left eye directs the earth (Jpn. *Tenchigen*). The fang emerging from the right side of the mouth also oversees the world above and the fang on the left side oversees the earth below (Jpn. *Gajogeshutsu*). The statue also has a fire halo and holds a sword and rope called *kenjaku*. The sword represents the sharpness of Tathāgata Mahāvairocana's wisdom, and the *kenjaku* rope captures one's worldly passions or self-centered calculations and rectifies the evil heart.



© 田中ひろみ

大來 尚順 (おおぎ しょうじゅん)

- ・浄土真宗本願寺派 超勝寺 住職
- ・一般社団法人 寺子屋ブツダ 理事
- ・著述家
- ・翻訳家

プロフィール

1982年、山口市生まれ。龍谷大学卒業後に渡米。カリフォルニア州パークレーの米国仏教大学院に進学し修士課程を修了。その後、同国ハーバード大学神学部研究員を経て帰国。僧侶として以外にも通訳や仏教関係の書物の翻訳なども手掛け、執筆・講演・メディアなどの活動の場を幅広く持つ。

書籍：「超カンタン英語で仏教がよくわかる」(扶桑社)、「カンタン英語で浄土真宗入門」(法蔵館)、「訳せない日本語 日本人の言葉と心」(アルファポリス)他多数

宗教法人運営のための 法律入門

宗教法人の管理運営 8



代表役員 3

<代表役員の職務権限②>

代表役員の職務権限には2つあります(宗教法人法第18条3項)。

- ① 1つは、対外的に法人を代表することです。
 - ② 2つには、対内的に法人の事務を総理することです。
- ①については前回説明しました。今回は②について説明します。

②事務処理

宗教法人の事務決定権は責任役員(会)にあります。代表役員は、責任役員(会)の決定したところに従って事務を執行することになります。代表役員の事務の執行と代表行為とは表裏一体のものです。宗教法人の事務のうち対外的関係を伴うものが代表権ですから、対外的事務の執行の範囲は代表権と全く同じに考えればよいでしょう。対内的事務の執行は、献花献香・清掃等の事実行為です。これらの事実行為は代表役員が自ら行うほか、従業員等に行わせることが可能です。しかし、その責任はすべて代表役員にあります。

宗教法人法に定められている代表役員が執行する事務の主なものは以下のとおりです。

- ① 規則の変更・合併・任意解散の認証申請
- ② 財産処分等及びその公告
- ③ 公益事業その他の事業の実施
- ④ 財産目録等の作成及び備え付け
- ⑤ 各種登記の申請
- ⑥ 登記の届出
- ⑦ 清算人の就任
- ⑧ 破産宣告の申請

なお、代表役員は責任役員会の招集権をもっているのかどうかについては、宗教法人法に規定がありません。しかし、宗教法人法に規定がなくても、寺院規則に規定されていればもちろん、規定されていなくても、代表役員は通常事務総理権の一環として招集権をもつと考えてよいでしょう。このことは重要なことから、寺院規則に明記することが望まれます。

<①②の権限行使にあたっての注意事項>

代表役員が対外的に代表したり、対内的に事務を処理するにあたっては、つぎのことに注意をしなければなりません。即ち代表役員は常に法令や寺院規則・宗制などに従い、これに違反しない範囲で宗教上の規律や慣習を充分考慮に入れなければなりません(宗教法人法第18条5項及び6項)。

また、代表役員は善良な管理者の注意をもって職務権限を行う義務を負います(民法第644条)。「善良な管理者の注意」とは、民事上の過失責任の前提となる注意義務の程度を示す概念で、宗教法人の代表役員たる地位から考えて、通常要求される程度の注意のことをいい、「善管注意」とか「善管注意義務」といわれています。

<代表役員の責任>

○宗教法人に対する責任 — 委任契約上の責任

代表役員と宗教法人の法律関係は、責任役員と同じ委任という契約関係です。従って、委任契約上の「善良な管理者の注意」をもって処理をするという義務が生じます。これに違背したり、これを怠ると債務不履行として宗教法人に対して損害賠償義務が生じます(民法第415条)。代表役員が不適切な処理をしたために損害が宗教法人に生じたとき、その事項に賛成の議決をした責任役員も、善良な管理者の注意義務を尽くさなかったとして、その宗教法人に対して債務不履行の責任を負います(民法第719条)。

○第三者に対する責任 — 不法行為責任

代表役員が職務を行うにつき、第三者に損害を加えたときは、宗教法人がその第三者に損害を賠償する責任を負いますが(宗教法人法第11条1項)、同時に代表役員も損害を蒙った第三者に個人的に賠償しなくてはなりません(民法第709条)。宗教法人が第三者に損害額を支払った場合には、代表役員は、宗教法人が第三者に支払った損害額を宗教法人に支払わなければなりません。代表役員の不法行為が職務の範囲外であるときは、宗教法人は何ら責任を負いませんが、不法行為をした代表役員が個人的に第三者に損害額を支払わなければなりません。この代表役員の不法行為に賛成した責任役員も代表役員と連帯して個人的に責任を負うことになります(宗教法人法第11条2項)。

作成・監修 弁護士 長谷川正浩

『花のように 空のように……』

クラスの女の子たちにいじめられていた小学生の頃です。「あんなにかいない方がいい」「死ねば？」など、命を否定することまで言われ、毎日自殺する方法を考えていました。

ある日のこと、あまりにも辛すぎて、「本当に死んじゃおう」と決心しました。家の前に、私の身長より高い草木が茂っていて気味悪い広い土地がありました。私は、「もういやだ」と草を掻き分け泣きながら入って行きました。ぬかるんでいて、すぐに靴はドロドロになり、カーディガンは草木の枝や種に引っ張られ、ギョツとするような虫までいました。それでもこの中に入れば、もう戻って来なくてすむと、私は本気で信じていたのです。

どれだけ歩いたでしょうか。突然、土の乾いた島のような小さな場所に出たのです。私はドキドキしながら、そこに上がり寝そべってみました。大きな青い空が広がっていました。やがて涙が乾いた時、その空が、笑っているように見えたのです。まるで観音様の優しい微笑みのような……。体を起こすと、そばで薄紫の花が咲いていました。「誰も見てくれないのに、こんなトコで頑張ってる咲いちゃって……」と思ってから私は、はっとしました。でも空は見てくれる。そして、太陽は花に光を当ててくれていた……。

弘法大師空海は、「太陽の光と仏の慈悲は、すべてのものに平等に注がれている」とおっしゃいます。雑草のような花にも、光が注がれていたのです。そしてこの私にも……。私は、あの空のように「笑おう」と思いました。そして、この花たちのように頑張ってみよう……。私は泣きながら来た道に戻りました。

翌日から私は、いじめられる度、笑おうとしました。これまでいじめられる度、しかめっ面をして斜め下を向いていた私が笑うということは大変なことでした。

「バッカみたい」

と彼女たちは笑いました。でも、そのうち命を否定する言葉だけは言わないでくれるようになったのです。

この世に死ねばいい人なんて一人もいません。皆、役割を持って生まれた大切な人です。もし辛いことがあって、自分自身や、自分のお役目を見失ってしまったら、自然のもとで自分を見つめてみませんか？太陽の光と、自然のエネルギーを全身に浴びながら自分を見つめてみると、もう一歩だけ前へ踏み出す勇気が、きっと湧いてくると思います。

プロフィール 家田 莊子(いえだ しょうこ) 作家・僧侶(高野山真言宗本山布教師)

著書:『四国八十八カ所つなぎ遍路』『女性のための般若心経』『孤独という名の生き方』など136冊

法話
ぶっぽうそう
8

「ぶっぽうそう(仏法僧)」では専門家や大人だけではなく、子どもでも分かりやすい言葉や内容を心がけて、日々の生活に役立ち活かしていける法話を紹介いたします。



花まつり

ポスター・絵はがき 頒布開始

花まつりデザイン応募作品から作成いたしました!!

全日本仏教会では「花まつり」の社会宣揚を推進すべく花まつりポスター・絵はがきを頒布しています。第3回を迎えた花まつりデザイン公募、2019年は仏教行事「花まつり」を題材に自由に描いていただきました。国内外から169点の応募をいただき、その中から大賞に選ばれた作品を使用したポスターと絵はがきを作成いたしました。地域や寺院で開催される「花まつり」や春のイベント告知に、新春のご挨拶や感謝の気持ちを伝えるツールとしてご活用いただけると幸いです。皆さまからのご注文、お待ちしております。また、少数でもお気軽にご注文ください。

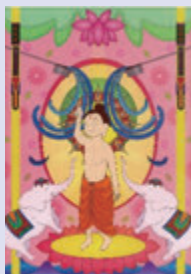


ポスター大賞「よろこび」



「釋迦誕生佛」金剛峯寺蔵

- ◆ポスター:1枚50円
(※別途、送料が必要です)
- ◆サイズ:A2



「花雨の下」
(Under the Rain of Flowers)



「おめでとう、お釈迦様!」



「よろこび」

絵はがき大賞(2作品)とポスター大賞作品

- ◆絵はがき(3枚1組):無料
(※別途、送料が必要です)

皆さまの花まつり・春のイベントを紹介します!

本会Webサイトでは全国の「花まつり」や春のイベントを紹介したく、開催情報をお待ちしております。一人でも多くの方に「花まつり」を知っていただき、お釈迦さまのご誕生を皆さんでお祝いいたしましょう。

【お申し込み・お問い合わせ】

広報文化部

TEL:03-3437-9275 FAX:03-3437-3260

E-mail:a-shimojima@jbf.ne.jp

※申込用紙は本会webサイトよりダウンロードいただけます。(http://www.jbf.ne.jp/)



全日本仏教会

検索

<http://www.jbf.ne.jp>

発行人 戸松義晴

発行所 公益財団法人 全日本仏教会

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2階

TEL:03-3437-9275 FAX:03-3437-3260

e-mail:info@jbf.ne.jp



公益財団法人
全日本仏教会
WFB (世界仏教徒連盟) 日本センター

